

令和３年度 第２回北杜市明野地域委員会会議録

- 1 会 議 名 令和３年度 第２回北杜市明野地域委員会
- 2 開催日時 令和３年１１月１０日（水曜日）
午後１時３０分開会～午後３時２０分閉会
- 3 開催場所 明野総合支所 ２階 大会議室
- 4 出席委員 村田茂・丸山明・五味力・仲沢仁・清水千代子・清水勝・清水真理子・篠原大・雨宮智博・仲澤幸雄・嶋津英樹・浅川一恵・小泉優子・駒谷治克
北杜市役所 企画部 企画課長 田中伸
企画課 ふるさと納税担当 土屋直己
事 務 局 明野総合支所長 三井喜巳
地域市民課市民担当 矢崎昌富
地域市民課市民担当 仲澤徹
- 5 議 題 （１）令和３年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算進捗状況について
（２）令和４年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算について
（３）その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人数 ０人

8 審議内容

(議 長) 会議録署名委員に仲沢仁委員、清水勝委員の2名を指名します。

(1) 令和3年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算進捗状況について

(議 長) 令和3年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算進捗状況について議題とします。事務局から説明を求めます。

(事務局) 令和3年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算進捗状況について、資料に基づき説明。

(議 長) 令和3年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算進捗状況について説明がありました。ご質問・ご意見等ございますか。

(委 員) 「明野町地域づくり支援事業」の事業の実績報告の確認はどのように行っていますか。

(事務局) 紙ベースの事業実績報告書に写真・領収書を添付してもらい提出していただき確認しています。

場合によっては、実際に現場へ出向き確認をしています。

(議 長) 他に何かございますか。

(委 員) なし

(議 長) それでは、令和3年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算進捗状況について審議を終了します。

(2) 令和4年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算について

(議 長) 次に令和4年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算について議題とします。事務局から説明を求めます。

(事務局) 令和4年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算について資料に基づき北杜市の方針を説明。

(議 長) ここで一度質疑を取ります。ご質問・ご意見等ございますか。

(委 員)

確認です。先ほど大きな花火大会という話でしたが北杜市一本ということですね。各町で考える必要はないということでしょうか。

(事務局) 北杜市一本で行います。各町で考える必要はありません。

(委 員)

「祭り」を令和4年度は行わないと決定したみたいですが、これはコロナだから行わないということでしょうか。令和5年度はどうなりますか。

(事務局) 令和4年度についてはコロナの影響のため中止とさせていただきます。令和5年度については地域委員会の補助金を充てての「祭り」の開催を想定しています。この際には令和4年度に割り振られた加算額は平らにして再配分することが予定されています。

(委 員)

地域委員会の予算というのは合併当時に地域委員会で使途を決定する予算ということで割り振られています。この減額になって割り振られる予算は令和4年度だけですか。令和5年度以降は元に戻るということでしょうか。

(事務局) 令和5年度以降、完全に元に戻るとは言えません。

() 委 員)

「お祭り」については市の方針もあるのですが、地域委員会の予算は各町の地域委員会が令和4年度はどうするのかを検討して決定するのが通常であって、市が決定し、イベント開催費用を引き抜いた代わりに予算を加算するから従えと上から言うてくるのは、あまりにも地域委員会を無視していると言わざるを得ない。コロナで「お祭り」が実施できないというのは誰もが納得すると思うが、地域委員会というのは、その地域をいかにして活性化させるかということも考えて、だからきちんと予算も割り振られている。令和4年度はコロナで「お祭り」ができないというのだったら、「お祭り」以外で地域の活性化を図るための議論を地域委員会で行うことが本来だと思う。その上で何も行うことが無いから予算は減るということであれば分かる。こういうやり方は、市は地域委員会を軽視したやり方だと思う。

(田中課長) 今、地域委員会の趣旨・地域委員会とは本来どういうものであるかとのお話がありましたが、市としては地域委員会の特色ある地域づくりをそれぞれの予算の使い方を各町で行っていただいていると考えています。今回この話が出た流れとしては令和2年度・令和3年度においてコロナで「祭り」ができませんでした。このコロナの状況はとてもピンチです。このピンチの状況をチャンスと捉えさせいただき、各地区で行っている特色ある事業は実施していただき、「夏祭り」については旧町村からのものがあるため、ここで、市民が一体感を持って実施できるイベントにすることができないかということがあります。こうした中、今回の地域委員会の予算を活用させていただく中で、花火大会を実施したいと考えています。

() 委 員)

先程の説明で、来年度の「納涼まつり」と「ダイコンまつり」は行わないということですが、「ダイコンまつり」は来年の11月であり、「納涼まつり」は来年の8月である。現在は県内のコロナの状況は0人で推移しているが、完全になくなることはない。来年できないということであれば、今後の「お祭り」はずっとできないのではないのか。この決定は市でしたのか。各地域の「祭り」は行い、花火大会も行えば良いのではないのか。

() 委 員)

地域委員会の予算ではなく、予算を別に取れば良いのではないのでしょうか。

() 委 員)

今年のダイコンまつりも今の状況だとできたのではないのかというご意見がある。活性化のためには事業を行わなければだめだと思います。

(田中課長) 私の説明の仕方が悪かった部分があります。来年度については「お祭り」は中止ということですが、令和5年度については、手作りの「お祭り」であれば地域委員会の予算枠の中で進めていただきたいというのが考えです。今はコロナが収まっているような状況です。しかし、いつ第6波が来るかが分からないのも事実であります。それぞれ皆さん生活様式が変わってきております。マスクを着けなければいけない・行動制限がある・イベン

トの際の上限がある等あるわけでありますが、そういった中で、今までどおりの「お祭り」が開催できないといったことが事実だと思います。人員であったり、予算であったりということを経後考えていかなければなりません。市町村合併して17年経ちましたので市として一体感を持つイベントの開催をしたいというのが一番の狙いでありまして、繰り返しますが、来年度につきましてはコロナの状況がありますのでイベントは実施しない、令和5年度以降については、予算の範囲内において、予算を再配分した中でイベントを開催していただきたいと思いますと考えています。

(委 員)

北杜市一本で花火大会を開催するということですが、どこで開催する予定でしょうか。例えば納涼まつりの際に明野町内でも、打ち上げている近くまで来ないと見えないということがあります。ましてや北杜市一本でやるとなるとほとんどの人に見えないと思います。なので、旧来通り各町村で花火大会を開催することを希望します。

(委 員)

花火大会は近くでなければ見えません。市では、なお密の状況にしようというのでしょうか。

(田中課長) やり方や、上げる場所については現在検討中です。密にならないようなやり方・時間等そういったものを今後検討していきたいと考えています。

(委 員)

ちょっと無理かと思いますが、各町村に戻してもらいたいと思います。

(委 員)

花火大会より、浅尾ダイコンまつりは今までずっとやってきて、入場制限するなりすればできる訳です。今年も現時点で感染者0人が続いていますので、なんで実施していないのかというご意見が多い。来年も実施できるかどうかは現時点では分からないのでせめて予算だけでも付けておいたら良いのではないのでしょうか。その上で実施できなければ中止すればよいのではないのでしょうか。そのくらいの余裕があっても良いのではないですか。始めから中止するという考え方は早急すぎませんか。

(田中課長) そういうご意見のところもあろうかと思います。合併から17年が経っております。市長も度々申しておりますし、過日の連絡協議会の中での発言にもありましたが、故郷は北杜であるというような形にしていきたいという想いがあります。合併して17年が経っておりますので、市民の一体感のある象徴的なイベントとして花火大会を行いたいと、そういうイベントの開催を今後行っていけたらと考えています。

(委 員)

田中課長の意見を伺っていると、各委員さんの意見と答弁がずれていると思います。④の財政課の資料はコロナを理由に中止と言っているが、田中課長は市の一体感を理由に中止と言っている。ペーパーと田中課長の説明もズレているし、清水委員の質問と田中課長の答弁がズレている。

(田中課長) ズレているということは申し訳ありません。しかし、ズレていると言われましてもこ

れ以上のことは申し上げられません。大変申し訳なくおもっています。地域委員会の趣旨というものについては承知しております。繰り返しになりますが、令和4年度につきましてはコロナの関係もある中で、予算を付けずに市で一本化したお祭りを開催する、それが花火大会となります。

(委 員)

そこが全然論議になっていない。

(委 員)

あまり繰り返しても仕方ないのではっきり話をしてほしいのですが、ダイコンまつりも納涼まつりもそれぞれ伝統のあるお祭りとなっており地域に培っているお祭りとなっている。その中で市では合併して17年経過するから一本化して花火大会をするということは逆の話ではないか。今まで地域の活性化のために開催してきた「お祭り」はやめて花火大会にするということは逆のことではないか。どうして花火大会に移るのか。どうして今までそのような説明もなく・地域の人たちにもっと聞いたりせず市だけで決めてしまうのか。花火大会をやるから地域の活性はしなくてもいいと言っているようなものではないか。そこをしっかり説明していただき、納得ができれば良いが、今までの説明では納得できない。

(委 員)

コロナでどうとかと言っているから分からなくなる。要するに地域委員会の予算を減らしたいし、旧8町村の特色ある地域づくりというものを無くしていききたいのか。そういうことであれば、地域委員会の位置づけを変えるのであれば、それぞれの地域委員会に議論を投げかけて納得したのであれば予算を減らすということであれば分かります。しかし、地域委員会には曖昧なことをやらせておいて、17年経ったから一体化を求めますと言われても、今まで旧8町村が行ってきた特色ある地域づくりをずっとやってきたことを蹴飛ばされているみたいな感じで全く納得がいかない。コロナだから中止しますと言われれば納得できる。来年度はコロナが再拡大するという予想になっているから中止しますと言われれば納得せざるを得ないが、片や17年経ったから一体化のためになんて言われると議論になっていない。

(土屋リーダー) 課長が説明した内容については市長の大きな枠の中の考えというところがひとつありました。先ほどから、ご質問のありましたコロナの影響なのかというお話については、正にその通りです。担当として各町の情報収集をしていましたが、明野町については花火だけでもできないかという議論があったり、武川町においては、花火を映像に撮って配信したいというご意見や、コロナ対策を万全にした中で実施したいというご意見があったそうですが、莫大な費用が掛かるため断念したそうです。確かにかなり先になるダイコンまつりや、納涼まつりの時期にコロナがどうなっているかということは誰に予測できないのですが、0か100かということではなく、市の予算を一本化したことによって流動的に予算が使えるという、又は第6波第7波が来いても花火だけはできるのではないかといいことで予算を流動的に使うことができることの措置という点が今回の趣旨となります。

ダイコンまつりが歴史のある、多くの方が来場してくれるイベントということは承知しています。しかし、ダイコン抜き体験をすることだけがお祭りではなくて、例えばダイコンまつり Week みたいな形にして、この辺りのダイコンを作っている人たちがもっと儲かる、浅尾ダイコンをもっと PR できる事業を実施したらどうでしょうか。是非この明野町に配分されているプラスアルファの部分はそういったことに使用していただきたいと個人的な意見も入っていますが、そのように思います。

(委 員)

(土屋リーダーの説明に対し) そういう議論をはじめから持ってくれば良かった。

(委 員)

コロナを理由に中止と言うが、来年のことを今決める必要があるのか。結論を出すには早すぎる。

(委 員)

予算だけ付けておけばよいということです。

(委 員)

市としても予算が厳しいということがあります。「祭り」という名前にすることなく費用をかけないで地域で実施していく必要があると思います。浅尾ダイコンまつりという名前にするのではなくて、それに対する特色のある事業を配分された予算の中で考えていかなければならないのではないかな。歌謡ショーのようなイベントにかかる経費を無くし、飲食を伴わない中で、以前行ったようなダイコン抜き体験のみ行うようなことを考えていく必要がある。

(委 員)

(先の意見に対し) その話を地域委員会の中で議論するというのであれば分かります。市から財政が厳しくなってきたので限られた予算の中でどのように行っていくか。予算が限られた中で、飲食を伴わないイベントを開催する方法はこの場で検討することであって、市から、来年の予算を決めなければいけないこの時期に、減らしてください・無くしてくださいと言ってくることは、地域委員会、各町を軽視しています。そこが不満です。市の言いたいことはわかりますが、あまりにも唐突だし、何の相談もなく言われても納得しないと思います。飲食を伴わないイベントの開催ということであればそのように検討します。

(委 員)

コロナの関係にしても現時点では店舗なども再開している。現時点で来年の話をするのが如何なものか。

(委 員)

市長が来て考え方を述べて地域委員会をどうしたいのかという説明をするべきではないか。

(委 員)

他の地域委員会でも同じような話は絶対に出ると思う。財政が厳しいから、また17年経過しているから一本化するために花火大会にしていきたい、形を変えていきたいという

ふうに示せば良いのだが、コロナの話とかを絡めてくるから矛盾が生じる。納得のできる説明をしていかないとならないと思う。

(委 員)

浅尾ダイコンまつりと納涼まつりは全然違うものだと思います。納涼まつりは地域の人たちが楽しむ。浅尾ダイコンまつりはものすごく有名になっていて、他県の人たちも知っているようなイベントです。浅尾ダイコンまつりだけは別の考えを持って進めていただきたいと思います。「お祭り」ということが駄目であれば別の方法で残してもらいたいと思います。

(委 員)

「祭り」に変わる事業を検討していくことが一番良いと思います。

(委 員)

浅尾ダイコンまつりが無くなって花火大会になるということが納得いきません。

(委 員)

予算を付けてもらって地域委員会に任せるということでは駄目なのでしょうか。

(田中課長) 正に、そういうことにしていければよろしいかと思います。地域委員会の予算が本来そう言ったものかと思っています。

(委 員)

花火大会というのは市民の皆さんの意見を聞いたのでしょうか。各地区の「祭り」を止める理由がよく分からなくなってきた。「祭り」の知名度とか人を呼び込む影響力とかを踏まえた上で、予算の規模というものが決まってくるのではないのでしょうか。

(田中課長) 花火大会の実施について、市民から調査したとかそういうことは御座いません。明野のダイコンまつりの知名度が無いとか、特色が無いとかは思っておりません。明野の納涼まつりにおいても手作りであり特色があると思っております。市として今考えているのは、こういった特色のある「祭り」を手作りで行っていただきたいと考えています。委託費が悪いという訳ではないのですが、明野のダイコンまつりが良い例ではないかと思うのですが、今後は手作りのPR事業などを地域の皆様で考えていっていただけたらと思います。

(委 員)

最終的には、地域委員会の意見を集約して予算を付けていっていただきたい。

(委 員)

「祭り」を取りやめるということは、財政課の資料でも、「令和5年度以降、これまで同様に各町地域委員会でイベントを開催する可能性もあり」となっていることから無いかとは思いますが。資料の中で、R3年度の予算額とR4年度の予算額の差額がありますが、それは何かに充てることが決まっているのでしょうか。もし使途が決まっているのであれば、これ以上言っても覆らないのではないのでしょうか。

(委 員)

花火大会に使いたいということではないのか。

(委 員)

46,000,000円全てでしょうか。花火大会にはそんなにはかからないのではないのでしょうか。

(田中課長) 今回加算される配分金額については、明野の地域委員会で組み立てをしていただいて、会長には連絡協議会の中で12月中という話をしたが、来年度の補助金を使う際までに決めていただきたい。

(議長) ひととおり皆さんの意見を伺いましたが、全体の連絡協議会の中でも、先ほど来迄に出た意見と同じような意見を発言しました。夏祭りの要素があるイベントの中止については少し理解をしていただいているようでした。明野町のダイコンまつりについては、他のイベントとは異なる旨の説明もしました。小淵沢についてもホースショー等地域の特色のあるものについては、他のものとは異なる。他の地区では予算を地域委員会の予算ではないところから探してくるのであれば開催しても良いのではないかという意見もありました。コロナで中止となるのであれば仕方ないのだけれども、予算は付けてくれという要望はしましたが、明確な回答はないまま、地域で説明するという運びになりました。

(委 員)

明野はダイコンまつり、あと、ひまわりについては、TVに出るくらい全国的なイベントである。そのような、地域の特色のあるものは必ず予算付けをしていただくように、お願いしたい。北杜市をPRするような特色のあるイベントは地域を活性化させるものであり、唯一無二のものである、また、合併前からの長い歴史を有しているもので、そのために苦勞されている方がたくさんいる。そういうものは必ず残していただかないとならない。大武川から明野まで一時間半かかる。いったいどこで花火大会をするのか。そういう無茶苦茶な話しではなく、地域の特色のあるイベントを残していただきたいと市長へ答申したらいかがでしょうか。

(委 員)

皆さんの意見を伺って、決してバラバラの意見ではないと思う。議題の持って行き方のプロセスが民主的ではない。自治的ではないので多くの意見が出ているのではないのでしょうか。

(田中課長) ご指摘のとおり、唐突的であったことは否めません。市の方としては、予算編成の時期となっていますので、予算につきましては進めさせていただきたい。ただ、本日いろいろなご意見を伺っていますので、持ち帰らせていただきたいと思います。

(委 員)

今日ここでは予算の採決はできない。持ち帰って予算を付けてくれるかどうか聞いてきてからとなる。

(委 員)

皆さんが言っていることは同じだと思うので、議長、まとめてください。持ち帰って来れるということなのでよろしくお願いします。

(田中課長) ご意見は持ち帰りますが、本日予算の決定は無理でしょうか。

(委 員)

無理です。

(田中課長) もう一度持ち帰って検討しますが、もう一度このような場を設けてもらうことは可能でしょうか。

(委 員)

もう一度同じものを持ってくるのであれば結果は変わらないのではないのでしょうか。

(委 員)

令和4年度については、加算分は出さないということで良いと思います。「祭り」以外の予算は令和3年度と変わらない。下手に換算分を考えて別の予算を大きくしてしまうと、令和4年度に「祭り」ができるとなった時に元に戻せない。令和5年度の「祭り」以外の予算は資料のとおりで良いと思うので、「祭り」以外の部分を採決したら如何でしょうか。そうすれば「祭り」の予算を持ち帰ってもらって、決定したら「祭り」の部分だけ付け加えれば改めて集まる必要が無いのではないのでしょうか。

(委 員)

ダイコンまつりだけ予算付けをしてもらって、納涼まつりは北杜市一本でということであれば妥協できる。あっちも駄目こっちも駄目、花火大会は実施するということは聞けない。持ち帰るのであればそういう検討をしてきてもらう必要がある。

(田中課長) 予算については、本日提示したものでお願いしたいと思います。しかし、本日出た皆さんの意見については持ち帰らせていただきたい。

(委 員)

予算だけ付けて、コロナで実施できなければ返せばいいのではないか。来年コロナがどうなっているかなんて言うことが分かっているのか。

(田中課長) 分かりません。

(委 員)

分からないのであれば予算を付けておくべきではないか。

(田中課長) 先ほど担当リーダーから説明がありましたが、この2年間はそのような形をとってきました。しかし、そうすると0か100かという話になってしまう。

(委 員)

コロナで中止になったから使わなかったからといって、次の年の予算が無くなるというわけではないのだから、付けておくべきではないのか。

(委 員)

他の町はどうか分かりませんが、明野だけ別の意見かもしれませんが、「祭り」以外の予算については、(案)のとおりで、加算分を付けない代わりに、「祭り」分については、令和3年度程度は付けてくださいということで審議すれば、もう一度会議を設けて決める必要はないと思う。

(委 員)

お聞きしたいのですが、一括して予算(案)が出ている中で、一部だけ決定して、他を保留するということは何なのでしょうか。

(土屋リーダー) 本来地域委員会からご提案を受けてということは当然あります。しかし、それぞれの町が勝手に予算の総額を決めることはできません。企画課では地域委員会全体の枠を決めて、人数割り・面積割等を行った中で各地域委員会へ案分したものが令和3年度の予算となっています。例年事業内容が大幅に変わらないことから、今回は令和3年度の予算をベースに「お祭り」の金額を省いたこの表を作成しました。私たちとしましては、もう一度この予算をベースに検討していただきたいと思います。

(議長) 今までは皆さんに提案してもらった事業はストレートに決定されてきたが、令和2年度・令和3年度についてはコロナの影響もありイベント的なものができなくなった。そういう中で令和4年度については2年間の状況を鑑み「お祭り」の費用を抜いたものを企画課の方で提案してきた。その中で明野町については、ダイコンまつりと納涼まつりが大きなイベントで67%を占めているため残りが33.7%となり、あまりにも少なくなり他の町とは不平等となるため、令和5年度は検討の余地があるという中で、令和4年度については、2,581,150円を「お祭り」ではない事業に充ててほしいということです。それに対して、明野町では原案は通らないということで、市へ持ち帰ってもらえるのかということになります。市に持ち帰ってもらっても明野町だけイベントを復活させたとなると他の町との兼ね合いもあるため難しい中ではあるが、検討してもらおうというのもいいかと思っています。

(委員)

「お祭り」については予算を復活してほしいということがお分かりいただけたかと思う。他の事業については、加算分については貰ってしまうと、この予算は「お祭り」を中止した中から捻出されているため、「お祭り」の予算を復活させるのであれば加算分は貰わないほうが良いと思います。他の事業についてはこの場で検討して議決を取っておいて、あとは「お祭り」の予算は付けてくださいということで結果を付して出せば今年の会議は今回で終わりで良いのではないかな。

(委員)

令和5年度から全く元の予算に戻すことはない。「お祭り」を復活させたくないのも、今後のベースは今回提案されている、6,662,150円になるのではないかな。

(土屋リーダー) 地域のコミュニティは必要と感じています。委託料が多大にかかる事業は見直したいと考えているため、明野町のイベントはできると考えています。

(委員)

花火大会は違うのか。

(土屋リーダー) 地域のコミュニティということです。花火大会に関しては一体感を図ることを目的とするためまた異なります。先ほど清水委員のおっしゃった予算を全て減らすということは全く考えていません。委託に頼ることなく地域のコミュニティを大切にする「お祭り」は今後も残していきたいと思います。手作りの「お祭り」はできていると思うが、ダイコンまつりについては大半が委託費となっているため、やり方を考えていかなければならないと思います。

(委 員)

一度ゼロにした予算を再度盛るということは難しいのではないか。

(委 員)

令和2年度も令和3年度もゼロで出しているのではないか。

(事務局) 当初予算については令和2年度も令和3年度も付いていました。しかし、コロナウイルスの影響のため中止になり、結果ゼロになったということです。

(委 員)

当初予算は今まで通り盛って、実施できるできないというのは後の判断ということで良いのではないか。

(委 員)

質問ですが、資料③(加算分の表)には令和4年度の予算が6,662,150円となっているが、資料⑤(令和4年度当初予算(案))には入っていないがどういうことでしょうか。

(事務局) イベント費を差し引き、加算額についての議決を受けていないため、当初予算に反映することはできません。この議決が得られれば、予算の使途については事務局が決定する訳にはいきませんので、皆さんに決めてもらうこととなります。

(委 員)

加算分は貰わないほうがいい。

(事務局) 仮にイベントができないという状況で決議された場合は加算分を貰わないと事業が少なくなってしまう。

(委 員)

令和5年度からどうするかということです。

(事務局) 先に説明をしなくて申し訳なかったのですが、資料④(令和4年度北杜市地域委員会予算について)にその辺の考え方が載っています。この措置は令和4年度のための措置であって、令和5年度については加算分を取り消し、令和3年度当初予算を基にまた再配分することが予定されています。加算分を貰ってしまったからと言って容認したとかそういうことはいいです。先ほど駒谷委員からもありましたが、一部だけ決議するということはありませんので、持ち帰ってもらうのであれば、一度この予算(案)は白紙にするか、イベントは廃止することで決議するかということかだと思います。

(委 員)

もし仮に「お祭り」の予算を付けないのであれば、加算分を予算措置することは良いかと思います。しかし、加算分については、「お祭り」を中止にしたことによる加算なので、復活してほしい立場からすると加算分を決定してしまうと「お祭り」ができなくなってしまうため、加算分は考えない方が良くないかなということです。

(委 員)

「令和4年度北杜市地域委員会予算について」によると、加算分については、「イベント

（祭り）開催に使用しないでください。」「単なる地区への補助金交付は行わないでください。」となっているため、イベントには使えない。

（事務局） 加算分についてはイベントには使えないため、このまま決議するとイベント以外のものに充てなければならないので、「お祭り」に使用したいのであれば、一度持ち帰ってもらって、検討してもらったうえで改めて議決を得る必要があるかと思います。

（ 委 員）

このまま議論しても埒が明かない。

（ 委 員）

もう少しプロセスを大切にしなければいけないという印象を受けました。

（議 長） 議案（２）については理解を得られないということで、担当課の方には本日の意見を持ち帰り協議をしてください。

（３）その他

（議 長） その他ですが、何か皆さんからありますか。

（事務局） よろしいですか。それでは、事務局より視察（研修）についてお話させていただきます。

例年地域委員会では視察を行っておりますが、確かに今の段階ではコロナウイルスが落ち着いておりますが、多人数の会食については控えているのが現状かと思いますので、全員で視察し、お昼を一緒に食べるということは控えたいと思います。今回は視察をし、お弁当を配布するような形にしたいと考えております。こういったところを視察先にしたらよろしいかというご意見を伺いたいのですが、村上農園の２期事業が完了し稼働がされております。村上農園においては、明野町を拠点としている企業であり、皆さん明野町の地域委員となっていますので、一度観ておくのがよろしいのではないかと思います。村上農園に相談したところ、現在において受け入れはしていないらしいのですが、そういうことであれば本社に相談してくれるというふうに言っていました。事務局の方で折衝次第となりますが、おそらく年明けになろうかと思います。村上農園の視察でよろしいでしょうか。

（委 員） 異議なし。

（議 長） 事務局からは以上ですが、皆さんからは無いということなので以上で議事を終了させていただきます。皆様のおかげで有意義な意見が出たと思っております。これで議長の座を下ろさせていただきます。ありがとうございました。

（事務局） 以上で地域委員会を終了しますが、令和４年度明野地域委員会予算使途提案事業の予算についてご承認いただけなかったため、もう一度ご参集いただくこととなります。ご参集いただく時間ですが、昨年、夜開催したらどうかというご意見があったそうです。夜だと７時や７時半になろうかと思います。昼だこの時間帯になろうかと思います。いかがいたしましょうか。

（委 員）「昼だと１カ月くらい前に言ってもらわなければ調整が難しい。」「夜７時が良い」等の意見あり。

（事務局） 次回は夜７時からということでよろしいでしょうか。

（委 員） 異議なし。

(事務局) それでは開催日は改めて通知しますのでよろしくお願いいたします。これで令和3年度 第2
回北杜市明野地域委員会を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。

以上会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和 3年 月 日

明野地域委員長 _____

会議録署名委員 _____

会議録署名委員 _____